

REF 28

RUBBISH Selecting Squad's EROTICA 28
Comic Market 95
Fate/Grand Order FANBOOK

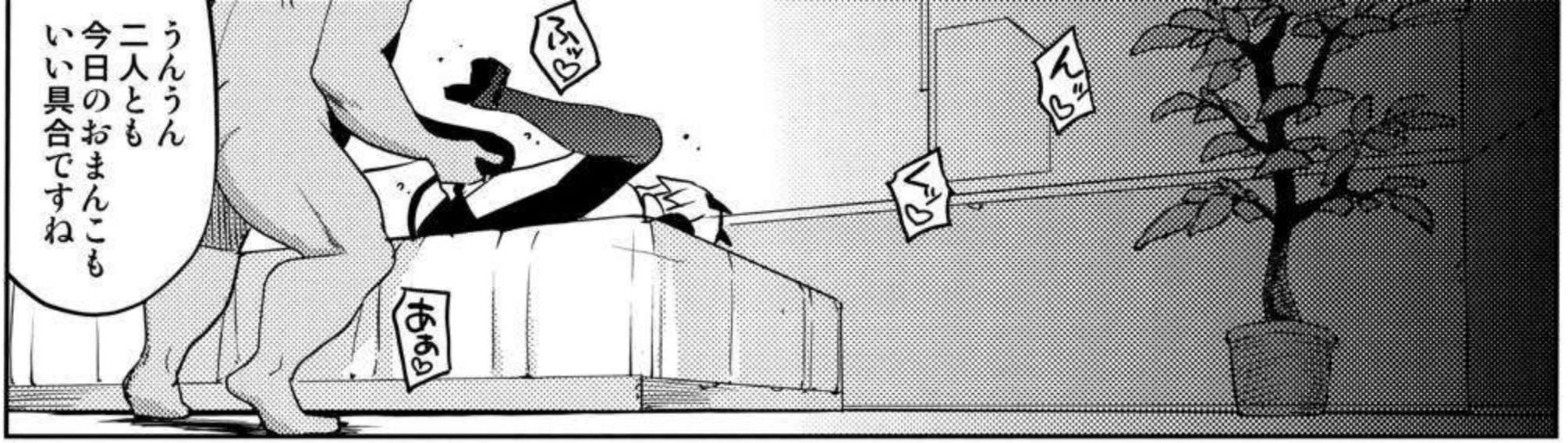


18
For ADULT ONLY

RE28



下乳上 & モーさん凌辱調教本です。
基本的にロリコンなので、巨乳の描写はまだまだかもしれませんが
少しでも楽しんで頂ければ幸いです。

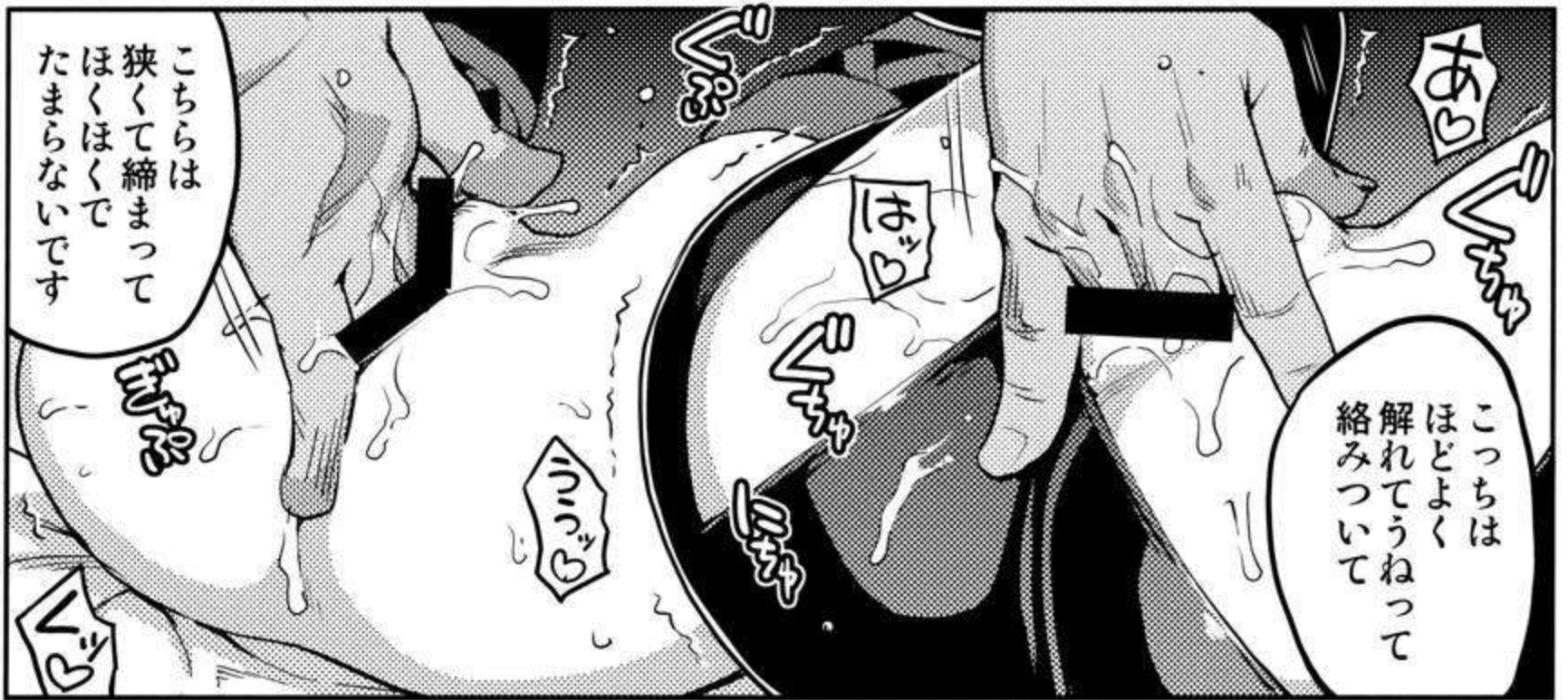


うんうん
二人とも
今日のおまんこも
いい具合ですね



うーん
悩みなあ

今日は
どっちに
注ごうか



こっちは
ほどよく
解れてうねって
絡みついて

こちらは
狭くて締まって
ほくほくで
たまらないです



二人は
どうして
欲しいですか？

好きにすれば
良いだろう
この…変態めッ

どちらにも
ぶちまけねば
満足できない癖に

まったく
だ…ぜ

結局気絶する
まで好き放題
しやがるんだからよ…



貴様…
騎士たるものが
無暗に欲しがる
ものでは…ッ

今やマスターの
情婦同然だ



私も彼女も
人理を
守るべく矛
英霊として
召喚された
はずが

使っても…
いいいいけど
…さ…

ぽ…あ…

お、俺の…
おま…こ

まあ…
どうしてもって
言うなら…



あまりの
快樂からか
モードレッドは
そんな自身を
受け入れつつある

へへへ
今更
強がったって…

父上だって
…もう

欲しくて
たまらない
んだろ…ッ

誰が…
そんな…事

まだすこし
素直になれない
アルトリアさんの
おまんこ

はい
それじゃ
今日は

そして私も



種火でいっぱい
しましようか

いつまで
もつかは
わからない

おまんこ
おまんこ
おまんこ

おまんこ
おまんこ
おまんこ

どうして
こんな事に
なってしまったのか

モーさんは
パイプで
お預けね

抗う手段が
あったのでは
ないか

張り子でイクの...
あんま好きじゃ...
ねえ...から...

んだよ...
ははやく
しろよ...な

何度となく
繰り返しした
自問に
答えは出ない

この男の元に
召喚された時点で
答えは

もしかしたら

運命は
決まっていた
のかもしれない

召喚当日

ランサー アルトリア
召喚に応じ参上した

我が愛馬が
雷雲を飲むように

我が槍は
あらゆる城壁を
打ち破る

あなたの道行きを
阻むもの
すべてを打ち砕こう

この時の事は
良く覚えていない

はじめまして
乳上ッ!

早速種火いっばい
注いであげますねッ!

なに?!

まさか?!

恐らく
あまりの事態に
身体と頭が
ついていかなかった
のだろう

おのれ

今更のしげが

あッ

ああッ!

ああッ!

ジュ
ジュ

ジュ

再臨おめでとうございます
マスクもとれて
スツキリしましたね

あ♡

ガクガク

あ♡

ガク

ガク

後から
当時の様子を
マスターから
聴かされる度に

あ♡

ガク

羞恥のあまり
世界を焼き尽くしたい
衝動に駆られたものだ

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

ガク

ガク

ゴゴゴ

ゴゴゴ

ゴゴゴ

いきなりの再臨で
身体が
ビツクリしたのか

おもらししちゃって
ますけど

大丈夫
僕は気にしません
むしろ褒美です

あ♡

それから
毎日

育成という名の
凌辱は続いた

はッ



それにしても
意外です

まさか槍の
アルトリアさんも
男性経験
なかったとは

あ、あたり…
前だ…ッ

こんなに
スケベで

出産向きな
身体されてるのに
職務怠慢では？



こんな事を
している暇は…

王にはない…ッ

いやいや
次代の王を
産み育てるのも

大切な
仕事ですよ？

むっ



むっ

あッ

まあモーさんが
いたから
必要なかつたのかも
しれませんが

あの者は…
王には
相応しく…な…

うーん
ロンドンでは
いい子だと
思いましたけど

まあウチには
まだいないので
何とも
言えませんね

ちっ
ぶ



ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

びっ

びっ



僕たちで
相応しい子を
つくって
みませんか？

あんまり多いと
王位継承で
揉めそうだから

あッ
なッ!?
あッ

マスターが
好色漢なのは
早々に
理解していたが

とりあえず
3人ほど



じゃあ
折角ですし

はッ
はッ
はッ

あッ



ふざけ…るなッ

その精力は
底知れず

サーヴァントに
子を為せるわけが

行為は平気で
数時間…

時には丸一日
続く事もあった

あッ
あッ
あッ

あッ
あッ
あッ

また 育成は主に
マスターの自室で
行われて
いたもの

場所を問わず
行われる事も
あり

全てはマスターの
気分次第だった

ふざけるな
こんな…
ところでッ
貴様は…ッ

稼いできた種火
アルトリアさんに
注ぎたくて

いやあ部屋まで
我慢するつもり
だったんですが

こんな格好
させておいて…

よくも
抜け抜けと…

凄いな…
彼女、騎士王の
オルタなんだろ？

この前召喚した
ばかりなのに
すっかりメスの顔に…

しかも処女
だったんだぜ？
それがこんな…

チンコ
突っ込まれて

本気汁
垂れ流して

観られて
するのが
よっぽど好き
なんだな…

貴様ら…ッ
この私に向かつて
そんな口をッ



ダメですよ
アルトリアさん
そんな言葉使いは



だから
そういうのは
ダメですって



皆さんも
あまり刺激
しないで
くださいね

まだ育成中で
絆レベルも
低いんですから

ああすまない
邪魔したね

しつげが
済んだら
楽しませて
くれよな

くそ…ッ
絶対に…
ころ…す

ころ…
してやる…

この時
私はかすかに

でも確かな
何かを感じた

マスター達への
怒りですぐに
かき消えたものの

それが
何なのか

思い知らされる
のは次の日の
事だった



いえいえ
これからですよ

まだ始めて
ほんの2時間

音を上げるには
早すぎます

そんな筈はないと
否定する程に



身体はその
思いを否定する



苦痛とも
呼べるほどの
刺激に

私の胎内は
昂ぶり溢れ



何度となく
絶頂を迎えた

霊基が破壊
されそうな程の
絶頂を繰り返す

意識を
無くしても

魔術礼装による
強制覚醒





そして
再びの絶頂



再び覚醒からの
絶頂

意識を失い

汗も涙も
愛液も

あらゆる体液を
まき散らしながら
絶頂し



そんな事を
繰り返し
数十回:

一晩中
イキ続けても
尽きる事のない
愛液に

増していく
その感度

どれだけ
抗おうと
この身体は

刺激を
与えられる程に
愛液を溢れさせ

無様により狂う
性質なのだ

いやはや
驚きです

アルトリアさんの
身体は僕の
期待以上ですよ

さあ
最後は僕の
おちんちんで
イキ狂ってくださいね

思い知らされた



だがそれでも
私は否定する

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ



今日は
お疲れ様でした

これからは
行為の後
必ずお掃除フェラを
すること

もちろん
その豊かな胸も
使ってくださいよ

いいですね？

朦朧とした頭で
マスターの性器を
しゃぶらされ

拘束責めの
余韻に全身を
震わせ

次なる快感に
身体の芯が
熱くなろうと



この男を
マスターとして
認めるワケには
いかない

そう強く誓った

はずなのだが

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ

その数日後

マスターが
彼女の召喚に
成功した

セイバー
モードレッド
推参だッ

父上は…いる

…か？



お久しぶりです
モーさん
ロンドン以来ですね

父上共々
これから
よろしく
お願いしますね

ひゃ、ひゃめろ
マスター

こんな無様を
見せつけるなど…

あーっ





なんだよおい...

なんで父上が...

どういうことだ
テメエツ!?

父上から
離れ...ツ!?



だがそれも
東の間

モ...モード
レッド卿...

わらひを...



なッ

か、身体が...ツ

令呪か!?

モード...レッド...

私の有様に
憤慨する
モードレッド卿に

不思議と
胸が熱くなった

彼女の目前で
ひたすら醜態を
晒す事となった
私の頭は



見る...な...

ま 待ってろ
父上ツ
今助けるツ



ち 父上ツ!?

父上
しっかりしろツ!!

てめえツ

父上を
離せツ!!

この...ツ
くっそおツ



怒りと

それ以上の
羞恥と快樂で
一杯になってしまった

あッ
おあッ

おあッ

あッ
おあッ
あッ
おあッ

あッ
おあッ
あッ
おあッ



おかげで
このあと
意識をなくし

以降の事は
覚えていない

後から
聞いたところ
によれば

……な……

あッ
おあッ
あッ
おあッ

ズク
ズク

あッ
おあッ

あッ
おあッ

あッ
おあッ

あッ
おあッ



何て声
だしてんだ
騎士王ツ

モードレッドは
私を罵倒しつつも
この身を案じて
くれたようだが

母上みたいなの
情けない声
だしてんじや
ねえぞツ

何やってんだよ…



それが
騎士の上に
立つ者の姿かツ！

そんな奴
今すぐ
叩きのめして
みせろよツ

なあツ
父上！

うーん 今の
アルトリアさんには
中々酷な事ですね

そこまで
言うなら
モーさん



代わりに君が
僕の種火を
受け止めて
みませんか？

——はツ
おもしれえ

てめえなんぞに
オレをどうにか
出来ると——

——
ツッ！

キッ



なんにやんだよ
くそツ♡

くそくそツ
つぎけんにや♡
ふふふ



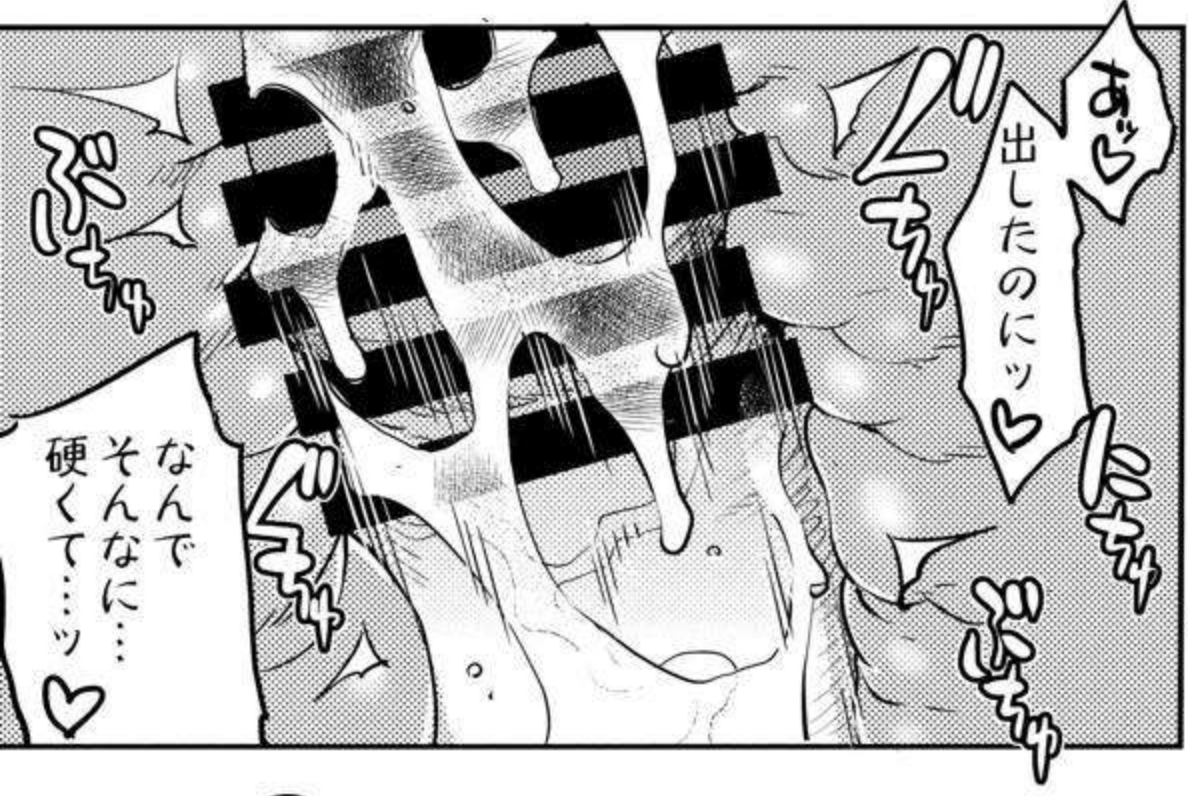
ふふふ
まだそんな口が
聴けるなんて
さすがですね

こんらのつて
こんにや...
がく



第三再臨まで
一気に進めて
しまいました

おまんこの
具合も
素敵です
あ♡





私を庇うつもり
だったのかも
しれないが

彼女もまた
マスターの
「育成」には
抗えなかった

そうして
私たちは共に
「育成」を
受ける日々を
過ごす事となる



毎日の「育成」の影響か

この頃になると私の身体は常に弛緩し



令呪なしでも反抗する事がままならなくなっていた

そのせいか職員たちも加わり「育成」はより過激になっていく

モードレッドはまだ力を残していたように思えたが

私と自身の有様に混乱していたのかすっかり大人しくなっていた

叛逆の騎士ともあろう者が情けない…

と言いたいところだが



ほらモーさん
父上凄く
気持ちよさそう
でしょう？

君もすぐ
こうやって
メス顔晒せるよう
になりますからね

先に手を
かけられていた
とは言え

あらは…

情婦以上に
喘ぎ悶える
私の方が

よほど無様な
姿として
彼女の目に
映った事だろう

それが悔しく
情けなく



そして
身体の芯が
蕩ける程に
興奮した



何より娘である
モードレッドに
見られて興奮する
性質でもあったのだ



恥知らずな事に
私は他人に



私を...
見る...にや...♡

おねが...♡

父上...
見る...な♡

ひやめろ
モードレッド卿...

そんな目で♡

おねが...



そして
血は争えないとは
良く言ったもので
彼女もまた...

クソッ
やめろッ

クソッ

クソッ

クソッ

クソッ

クソッ

クソッ

クソッ

クソッ

やだッ
イキたくない



父上の前で
なんかに...

私たちは
痴態を晒し

そして
互いの様を
目にする事で
より昂ぶり

喘ぎ
身悶え

絶頂を重ね
愛液を
まきちらし

イキたく
...にヤッ

クソッ

ガクガク

クソッ

クソッ

クソッ

自身の
メスとしての本質を
思い知らされていった

また

イグッ

ジュジュ

ムムム

ググ

ググ

ニムニム

ググ



さすがに
娘のおちんちんで
アへ顔晒すのは
抵抗がありますか

ならモーさん

僕も
手伝いますから

まほほ

ガンガン
おちんちん
ねじ込んで
あげてください

二人で
父上：

いえママが
素直になれるよう
頑張りましょう

クニクニ

クニクニ

クニクニ

クニクニ

クニクニ



ヒキ...

や、やめろ
モードレッド卿ッ

私をそんな風に
呼ぶなど...

そう...か

ヒキ

そうだ

ママだ...

ヒキ

ひゃ

ひゃ...

ママ...♡

ママ...♡

ママ...♡



キ
ク

ムム あああッ!!

キ
ク

ムム
ク
ク



ひひがう…
わらひは…ツ

貴公の
母などでは…

いえいえ
お腹を痛めて
いないとはいえ
ママには
違いありません

モーさんが
肉親の愛に
飢えていた事は
あなたも
ご存じでしょう



そして与えて
あげてください
母の愛を



二人とも
生前は色々と
難しい立場
でしたが

今なら
受け止めて
あげられるはず

あなたの娘の愛を



愛…などと
呼べるはず



ただ肉欲を貪り
ぶつけ合うのが…



愛…だと…
こんなものが…

なのに…
どうして…



「キュッ…」



今は
彼女が…

あ…ああ
ママ…♡

いいの catt

ああ…
モード…レッド

ママ…あッ♡

娘が…



出るッ
出ちまうよ♡

ママの♡
おまんこにッ♡

子宮に
…全部♡

俺のザーメン
…全部…♡♡





お前の
全てを...



んふん

んふん



愛おし...

...来なさい
モードレミック

フォチャ

いや...
来て...欲しい

私の
胎内...にッ

フォチャ



モーニング



あ



んふん

んふん



女子が来た

女子が来た

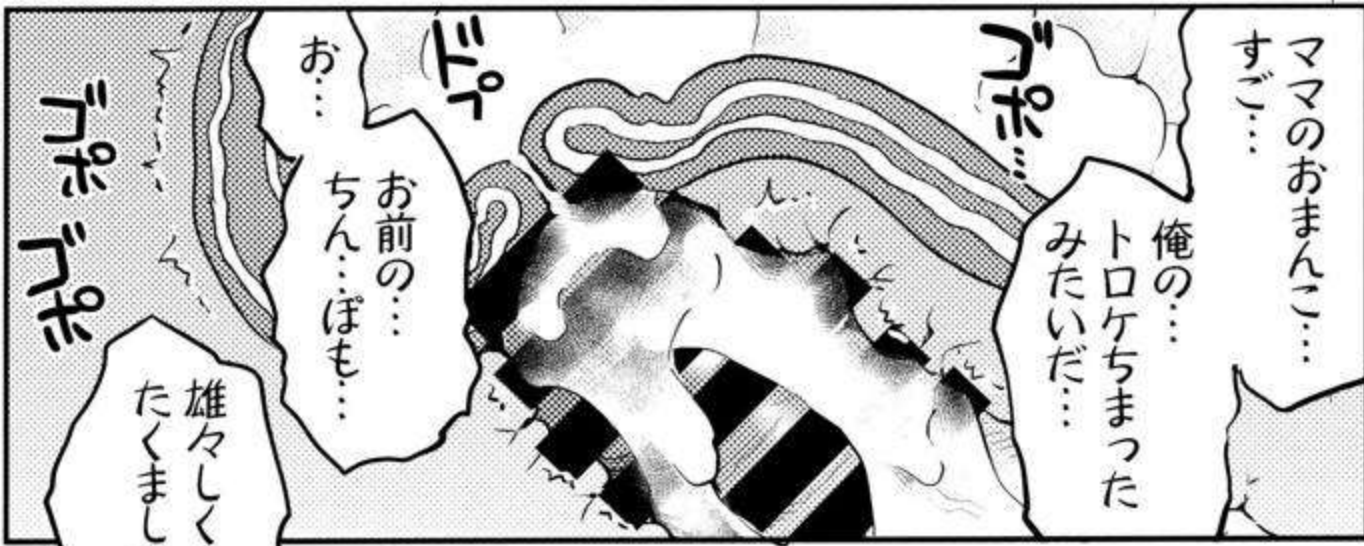
女子が来た

女子が来た

女子が来た

女子が来た





ふう…
今日は久しぶりに
本気でイケました

お二人には
感謝です

ご褒美に
今度聖杯を
捧げますから

この日

私から
抵抗する
意思は

これからも
もつともつと

親子仲良く
愛してあげますね

完全に失われた

後悔や疑念が
晴れたわけではない

怒りと憎しみも
まだ燃っている

だがそれでも

もはや
認める他はない

私の身体を
支配しただけに
飽き足らず

娘と共にいられる
悦びを与えてくれた
この男は



私の

私たちの
マスターなのだ



その後

エキエキ

な…なんだよ
この服…

こんなの
オレ…に

似合うワケ
ねえだろっ

エキエキ

いえいえ
似合ってますよ
モーさん

女の子らしくて
可愛いです

ツけんなツ♡

エキエキ

裸の方が
まだマシ…♡

あ♡

ズンズン
ズンズン
ズンズン

ズンズン
ズンズン

ズンズン

ズンズン

くそツ
くそ…♡

エキエキ…
フリフリ…♡

ギニ

ギニ

こんな恰好で
してたら…♡
オレ♡♡

おな

…ただの小娘
みたいじゃねえか♡

あ♡

おほ

その通り

ズンズン



!!?!
今のお前は
只の小娘

マスターと
私の寵愛を
受ける一人の女
であろう?



はひっはひいッ♡
オオレは
女の子おッ♡

ママとマスターにッ♡
ケツ穴とおまんこ
ぐちゃぐちゃにされて
アクメキメちゃう♡

どすけべ
おんなのこ
れひゅううッ♡

ふふふ
さっきの恥じらいが
ウソみたい

二穴責めすると
モーさんは
素直になりますね

うんッ♡
ケツまんこも
おまんこも
だい好きらもんッ♡

ママとマスターの
おちんぼがッ♡

おれの胎内で
ごりごりするの♡
だい好きらのおッ♡



只の人間では
味わえない
極太おちんぼ

存分に
楽しんで
ください

ギィ

ハハハ

ハハハ

ギィ



ハハハハハ

ギィ

ハハハ

ハハハ

二人とも
すっかり種火
まみれですね

聖杯を捧げた
甲斐がありました

ああ♡
ああ♡

ああ♡
ああ♡

ああ♡
ああ♡

ああ♡
ああ♡

オレもママも
ママにたまた♡

ママ♡

ママ♡

ママ♡

ママ♡

ママ♡
ママ♡

ママ♡
ママ♡

ママ♡

ママ♡

ママ♡
ママ♡

ママ♡

ママ♡
ママ♡

ママ♡
ママ♡

ふふ
嬉しそうで
何よりです

でもひとまず
今回は最後の種火

二人とも
聖杯レベルマアクメ
存分に
味わってください

ママ♡

ママ♡

ママ♡

ママ♡

ママ♡

ママ♡

ママ♡



さてレベルマの次に
目指すは
絆マックス

これからも
たっくさん
愛を注いで
あげますからね

おは
おは
おは

おは
おは
おは

おは
おは
おは

おは
おは
おは



あとがき

ども、はじめましてだったりいつもありがとうございますだったり。
無望菜志です。
今回は久々に凌辱気味な内容ですが如何でしたでしょうか。
無駄に長くなってしまった気もしますが、少しでも使いどころがあればナニよりです。

2019年は今回の本のように凌辱や調教、触手など、抜き要素強めの本を
頑張っていこうかと思ってます。
まあ予定は未定、思うだけなら誰でも出来るものですが。

ところで今回、馬が出てきましたがアレはラムレイというわけではありません。
ええ、ええ、もちろんFGOにおけるラムレイがメスなんて事は当然わかってますとも、
うっかりオスのつもりで書いて、完成間際に慌ててセリフだけ変えたなんて事は
ありません。
ないんです(真顔)

まあそんなこんなで。
次はオリジナル円光モノか、えっちゃん本を予定してますので、
もしよかったら改めてよろしくお願ひします。

それではまた。

2018年12月
FGOACにロリンちゃん実装発表された某日
無望菜志



RE28 ■ 奥付

□発行
RUBBISH選別隊
□発行日
2018年12月31日
□印刷
(株)PICO
□連絡先
rss@rubbish-ss.net
□HP
<http://rubbish-ss.net/>

無断転載・複写・転用
オークションや
フリマアプリへの出品
ウェブ上への
アップロードは禁止です。

RE28
R-18 FOR
ADULT
ONLY

ROBBISH 選別隊